

人口動態統計調査（死亡票）における オーダーメイド集計を行う際の仕様について

オーダーメイド集計の利用を希望する方は、この仕様に基づき「統計表作成仕様書」（様式第2号）を作成の上、「委託申出書」（様式第1号）等と一緒に窓口へ提出してください。

1 調査年次

平成19年～令和4年の調査データが利用可能です。

2 集計に使用するデータ

上記調査年次の死亡票データのうち、日本国内において発生した日本人の死亡についてのデータです。

3 集計対象項目

集計対象項目は次のとおりです。

- ・死亡数

4 結果の表章及び秘匿処理について

- ・分類一覧の各項目について集計を行い、表章は実数とし、単位は人とします。
- ・数値が存在しない場合は、「-」と表章します。
- ・統計項目があり得ない場合は、「・」と表章します。

5 オーダーメイド集計提供項目

利用可能な集計区分は、集計対象項目ごとに分類一覧に示す区分となり、集計区分の組み合わせ（クロス数）は、「男女別」「死亡した人の年齢」を除いて合計が3次元までとなります。

利用可能な集計区分の例

4次元： 男女別以外の3項目×男女別

死亡した人の年齢以外の3項目×死亡した人の年齢

5次元： 男女別／死亡した人の年齢以外の3項目×男女別×死亡した人の年齢

6 その他

死因簡単分類は、平成19年から平成28年調査は「ICD-10（2003年版）」（平成18年適用）、平成29年調査以降は「ICD-10（2013年版）」（平成29年適用）によるものです。詳細は、分類一覧を参照してください。